

## ベンゼン用タンクのスペース賃貸事業の開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、明4月28日から、当社知多製油所(所在地:愛知県知多市、所長:松岡純司)にあるベンゼン用大型タンク2基のスペースを貯蔵・出荷用として第三者へ賃貸する事業を開始します。
2. 当社は、2004年1月から、既存設備の有効活用および石油化学品事業の拡大を目的として、知多製油所にあるトルエン用大型タンク1基(27,000KL)のスペース賃貸事業を行っており、今回の施策はその拡充策となります。
3. 今回活用するタンクにつきましては、1基(25,500KL)を燃料用タンクから転用し、1基(25,500KL)を新設しました。これらのタンクは、石油化学基礎原料用としては国内最大の10万トン級タンカーが着岸可能なバース(船舶用停泊施設)へ接続されており、大型船舶によるベンゼンの受入・出荷が可能となります。
4. わが国の石化原料用オフサイト設備(タンク能力、バース能力)は脆弱なため、アジア域外との輸出入量を実質的に制限する要因の一つとなっており、ベンゼンに関しても従来から大型の出荷・貯蔵設備の必要性が指摘されていました。一方、ベンゼンを取り巻く環境は変化が激しく、その需給動向は、製油所やナフサクラッカーの稼働状況、誘導品の需要動向等によって大きく左右され、需給調整が難しい商品となっています。
5. こうした中、当社タンクを利用することでベンゼンの需給変動リスクを回避・低減することが可能になるとともに、トルエンとの相積みによる大容量の輸出も可能になるため、本施策はタンクスペース賃貸事業全体の需要喚起に繋がるものと期待しています。

以上

### ● 【参考資料】スペース賃貸事業に活用するベンゼン用タンクの写真



スペース賃貸事業に活用するベンゼン用タンク(手前左が新設タンク、その右横が転用タンク)